

中央材料室この一年

中央材料室看護科長 鈴木 多恵子

平成13年中央材料室の目標を『安全・確実な滅菌物を迅速に各部署へ提供できる』とした。この目標を達成するには

- 1) 自分で行なったことはきちんと報告する。
- 2) お互いに声掛け合い各部署・他部門との連携を図る。
- 3) 疑問に思ったら相談する。
- 4) 意欲を持ち前向きに仕事をする。
- 5) 危険・事故のないよう落ち着いて行動する。

とした。実際に大きなトラブルもなく、目標を念頭に入れて毎日の業務にあたっている。しかし、看護部接遇委員会で行なったアンケート調査の中で、『中材は笑顔が足りない・挨拶が出来ていない』と評価が出た。洗浄機やオートクレーブの作動による音の中で、集中して業務にあたっていることもあり、他のことを見る余裕がなく、周囲を気使う努力もしていなかったと言える。この事は中材会議の議題にも挙げ、笑顔で対応する事・大きな声で返答する事・挨拶をする事と常に周りの気配りをして業務にあたることを確認し合った。

職員の人事については、2月一杯で臨時職員看護婦1名が家庭の事情で退職し、3月から職員准看護婦1名が配属となる。又、9月の人事異動で准看護婦と看護婦が交代となり、現在は婦長1名・看護婦1名・看護補5名(半日パート含め)の7人体制で業務を行なっている。

会議については、1ヶ月に一度中材会議を開催している。連絡会議の内容や婦長会議の内容の伝達を行なってから、中材業務の検討や問題になっている事を、議題にし話し合いを行なっている。あまり活発な意見は出ないが、定期的に行なう事で院内・看護部の動きが明確となる。又、色々な情報を得る事で一人一人が医療に携わる者としての意識付けをしている。

中材の動向については、

- I) オートクレーブ2号機の新機種が導入された。
- II) 滅菌依頼伝票を作成した。

1) に関して、平成4年に2台のオートクレーブを同時に導入し、9年間使用しているため、2台同時に故障してしまう可能性があった。耐用年数も考えていただき、新機種導入になった。パネルタイプで取り扱い操作も簡単・稼働時間もやや短縮された。2号機が新しくなったことで、1号機が突然故障しても安心して修理をすることが出来る。各部署・部門にも支障なく迅速に対応でき稼働されている。

以上のような滅菌稼働回数が出た。昨年より稼働回数的に、若干減っている。しかし、他の病院・施設と比較すると、稼働回数は多い。特に夜間の緊急手術が多くなっている事や、鑷子や剪刀の単包パック化を行なっている事、各部署で使用する物品のパック化が多くなっている事が考えられる。パック化は個々の創の二次感染や、現在話題になっている院内感染防止にも有効であるため、今後も稼働回数の減少はないと言える。

滅菌依頼伝票については、スムーズに動いている。始めは慣れないせいで、各部署にも迷惑をかけたりましたが物品の取り扱いについてのトラブルはなくなったと言える。今後も継続して、使用していく。

- 最後に次年度に向けて、四つの目標を立案した。
- #安全で安心な滅菌物の提供をする
 - #いつも笑顔で速やかな対応をする
 - #挨拶は必ず行なう
 - #報告・連絡・相談をしっかりとる

上記の目標の達成と、さらに各部署の滅菌物の期限切れ返品を減少する対策を課題にあげ、一年間スタッフと一緒に努力していきたい。

【滅菌機稼働回数状況】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
オートクレーブ1	99 (96)	101 (103)	104 (117)	101 (98)	115 (127)	103 (114)	107 (101)	112 (125)	95 (114)	108 (103)	112 (118)	105 (108)	1262 (1324)
オートクレーブ2	98 (86)	97 (93)	112 (107)	98 (95)	101 (89)	109 (107)	109 (104)	106 (116)	88 (98)	106 (98)	96 (103)	96 (112)	1216 (1208)
ガス滅菌機	21 (37)	20 (37)	21 (41)	20 (35)	23 (39)	21 (44)	22 (36)	23 (33)	19 (22)	22 (22)	21 (23)	20 (23)	253 (384)

() の中の数字は平成12年